諫早市立小長井小学校　学校だより 49 号　　令和 8 年 2 月 27 日
文責　校長　橋口　亨

あおなみ-Blue Wave-

学校ホームページはこちらから→

「成果と報酬」

「〇〇したら、欲しいものを買ってあげる」「これができたら、好きな所に連れていく」など、子どもに対していわゆる『ご褒美』をあげることが往々にしてあるかと思います。この「成果」と「報酬」について次のような研究結果が出ているそうです。

まず、報酬には「外発的動機付け」と「内発的動機付け」があり、前者はお金や物、サービスといった外部からの刺激で、後者は「達成感」や「好奇心」といった自分自身の内から湧き出るものということです。

そして**「外発的動機付け」より「内発的動機付け」の方が成果としての持続性が高い**ということです。

つまり、「〇〇したら、欲しいものを買ってあげる」というようなことは、瞬間的な成果はあるかもしれませんが、**次々と「外からの報酬」を欲するようになり、それがなくなると、成果を出そうとする意欲も低下する**ということだと思います。

子どもたちは成長過程で、様々な壁に突き当たります。その時、子どもを発奮させようと「外からの報酬」を与えることがあるかと思います。しかし、これが常態化すると、先に述べたような**「外からの報酬」ありきに陥る懸念**があります。

「この壁を越えたら、ご褒美」より「この壁を超えることは、何かを得るためではなく、自分に必要な力をつけるため」であることを教え続けることが、将来的に子どもが社会を築いていく力になっていくのではないかと思います。